

福祉サービス第三者評価の結果

平成28年3月23日 提出(評価機関→推進委員会)



1 施設・事業所情報

(1) 事業所概況

事業所名称 (施設名)	浩々学園		種別	児童養護施設		
代表者氏名 (管理者)	園長 原子 ひとみ		開設年月日	平成20年4月1日		
設置主体 (法人名等)	社会福祉法人 八戸市社会福祉事業団		定員	35	利用人数	28
所在地	(〒039-1166) 青森県八戸市根城7丁目8番地46号					
連絡先電話	0178-22-2233		FAX電話	0178-22-3212		
ホームページアドレス	http://hsfi.hi-net.ne.jp/koukougakuen.htm					
第三者評価の受審状況	これまでの受審回数		受審履歴			
	1回		平成 25 年度			

(2) 基本情報 ※必要に応じて写真等追加可能

理念・基本方針	保護者のいない児童、虐待されている児童、その他の環境上養護を要する児童を入所させて、安定した生活環境を整えるとともに、生活指導、学習指導、職業指導及び家庭環境の調整を行いつつ児童を養育することにより、児童の心身の健やかな成長とその自立を支援する。					
	サービス内容 (事業内容)			施設の主な行事		
	保護者のいない児童、虐待されている児童、その他環境上養護に至る児童を入所させて、安定した生活環境を整えるとともに、生活指導、			4月 進級・入学祝い、児童福祉週間行事 6月 調理実習		
	学習指導、職業指導及び家庭環境の調整を行い、自立支援をしています。			8月 児童養護施設交流 9月 調理実習 10月 収穫祭・青葉湖ウォーク		
その他、特徴的な取組				11月 会食会 12月 クリスマス会 1月 初詣 3月 卒園式・祝う会		
	居室概要			居室以外の施設設備の概要		
	○4人部屋居室 ○プレイルーム ○食堂・調理室			○運動場		
	○浴場 ○図書室					
職員の配置						
	職種	人数		職種	人数	
	施設長	常勤: 1	非常勤:	夜間専門員	常勤: 2	非常勤:
	児童指導員・保育士	常勤: 8	非常勤: 1	調理員	常勤: 4	非常勤:
	個別対応職員	常勤: 1	非常勤:	清掃員	常勤:	非常勤: 1
	家庭支援専門相談員	常勤: 1	非常勤:	嘱託医(内科)	常勤:	非常勤: 1
	事務員	常勤: 1	非常勤:	嘱託医(歯科)	常勤:	非常勤: 1

2 評価結果総評

◎ 特に評価の高い点

浩々学園は、昭和25年の開設以来、長年培ってきた地域との交流を通して、地域の一員として認知されており、地域に溶け込んでいます。毎年、地区の運動会や町内の夏祭り、ごみゼロ運動、夏休みのラジオ体操、三社大祭、ちびっこマラソン等に参加し、町内外の地域との交流を深めています。また、施設の夏祭りでは、子どもたちがプログラムを持参し、地域住民宅を直接訪問して交流する機会を設けています。夏祭りには、地域住民や学校関係者・地域関係団体等、毎年100人ほどの参加があります。

関係機関との連携においては、事務・職員室内に、福祉事務所・児童相談所・学校関係・医療機関・その他の連携団体等をリスト化して掲示し、職員間で情報の共有化が図られています。児童相談所とは、年3回会議を実施し、地域の情報交換会には月1回(連合町内会長、PTA会長、交通安全母の会、民生委員、警察等が参加)参加しています。また、職員は、学校の担任との三者面談を通じて、子どもの情報共有に努めるとともに、学校の草取り・地域巡回・プールの監視、運動会の準備と片付け等、PTA活動に積極的に参加しています。

学習支援体制も整えられ、落ち着いた環境で勉強できるよう、学習室を設け、学習支援を担当する職員を配置し、基礎学力の定着を個別に支援しています。また、進学を希望する子どもや学習意欲をもつ子供に対しては、学習塾に通うよう働きかけを行い、将来の自立に向けて、職員が一丸となって支援しています。

◎ 改善を求められる点

法人全体の理念や基本方針に基づいて施設運営を行っていますが、施設独自の理念や基本方針を明確にし、ホームページやパンフレット、事業計画等に記載し、広く周知することが望まれます。また、組織体制や設備整備、職員体制、人材育成、財政面等の現状分析を組織的(意見集約、協議検討)に行った上で、中・長期の課題を明確にし、中・長期の目標と計画の策定をすることが望まれます。

長年の実績の中で、様々なノウハウが蓄積されていると思いますので、是非それらを可視化(見える化)し、職員全員が業務の手順を意識して実践・点検し、評価・見直しを行いながら更なる質の向上を職員全体で目指していける組織体制作りが望まれます。また、研修計画、実習生やボランティアの受け入れに関する基本姿勢と施設側のマニュアル等の整備が望まれます。

3 第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

今回2度目の第三者評価受審となりました。

今回の評価結果を真摯に受け止め子どもたちの最善の利益を追求するため職員一同今後も努力し取り組んでいきたいと思えます。また、評価の高かった項目については今後も支援の充実を図るとともに、評価が低かった項目については今後検討を重ね取り組んでまいります。

評価機関	名 称	社会福祉法人 八戸市社会福祉協議会
	所 在 地	青森県根城8丁目8番地155号
	事業所との契約日	平成27年12月4 日
	評価実施期間	平成28年 1月15日～平成28年 1月29日
	事業所への 評価結果の報告	平成28年 2月 24日

第三者評価結果

※すべての評価細目(45項目)について、判断基準(a・b・cの3段階)に基づいた評価結果を表示する。
 ※評価細目毎に第三者評価機関の判定理由等のコメントを記述する。

評価対象Ⅰ 福祉サービスの基本方針と組織

I-1 理念・基本方針

		第三者評価結果
I-1-(1) 理念、基本方針が確立・周知されている。		
1	I-1-(1)-①	理念、基本方針が明文化され周知が図られている。 a b ・c
<コメント>法人の理念は、事業団のホームページに掲載され、施設の玄関口横の壁に掲げてあります。施設の運営理念は、「事業計画の基本方針」として、事業計画に掲載されています。		

I-2 経営状況の把握

		第三者評価結果
I-2-(1) 経営環境の変化等適切に対応している。		
2	I-2-(1)-①	事業経営をとりまく環境と経営状況が的確に把握・分析されている。 a b ・c
<コメント>青森県児童施設協議会、東北ブロック児童福祉施設協議会の会員になり、社会的養護の動向や、養育・支援のニーズ、保護を要する子どもに関するデータを入手しています。		
3	I-2-(1)-②	経営課題を明確にし、具体的な取り組みを進めている。 a b ・c
<コメント>職員会議において、水道光熱費や各種経費の節約等について周知されています。		

I-3 事業計画の策定

		第三者評価結果
I-3-(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。		
4	I-3-(1)-①	中・長期的なビジョンを明確にした計画が策定されている。 a b ・c
<コメント>家庭的養護推進計画を作成しています。		
5	I-3-(1)-②	中・長期計画を踏まえた単年度の計画が策定されている。 a b ・c
<コメント>単年度の計画は中・長期計画並びに前年度の評価を踏まえて作成されています。		
I-3-(2) 事業計画が適切に策定されている。		
6	I-3-(2)-①	事業計画の策定と実施状況の把握や評価・見直しが組織的に行われ、職員が理解している。 a b ・c
<コメント>毎年12月から3月にかけて事業の評価を行って、課題を明確にし、次年度の事業計画を策定しています。		
7	I-3-(2)-②	事業計画は、利用者等に周知され、理解を促している。 a b ・c
<コメント>子ども会を通して、子どもに行事計画等を知らせています。		

I-4 福祉サービスの質の向上への組織的・計画的な取組

		第三者評価結果
I-4-(1) 質の向上に向けた取組が組織的・計画的に行われている。		
8	I-4-(1)-①	福祉サービスの質の向上に向けた取組が組織的に行われ、機能している。 a b ・c
<コメント>職員による自己評価を実施し、課題等についてまとめられています。		
9	I-4-(1)-②	評価結果にもとづき組織として取組むべき課題を明確にし、計画的な改善策を実施している。 a b ・c
<コメント>自己評価結果を取りまとめ、職員会議で周知し、次年度計画に反映させています。		

評価対象Ⅱ 組織の運営管理

Ⅱ-1 管理者の責任とリーダーシップ

			第三者評価結果
Ⅱ-1-(1) 管理者の責任が明確にされている。			
10	Ⅱ-1-(1)-①	管理者は、自らの役割と責任を職員に対して表明し理解を図っている。	a <input checked="" type="radio"/> b • c
<コメント>施設長は、会議等において、管理者としての責任、役割表明しています。			
11	Ⅱ-1-(1)-②	遵守すべき法令等を正しく理解するための取組を行っている。	a <input checked="" type="radio"/> b • c
<コメント>消防・労働・社会福祉・児童福祉・虐待等に関する法令等をリスト化し、事務室に整備してあります。			
Ⅱ-1-(2) 管理者のリーダーシップが発揮されている。			
12	Ⅱ-1-(2)-①	福祉サービスの質の向上に意欲をもち、その取組に指導力を発揮している。	a <input checked="" type="radio"/> b • c
<コメント>施設長は、養育・支援の質の向上に意欲を持ち、入所している子どもたちの自立のため、職員の意見を反映しながら、その取り組みに積極的に指導力を発揮しています。			
13	Ⅱ-1-(2)-②	経営の改善や業務の実行性を高める取組に指導力を発揮している。	a <input checked="" type="radio"/> b • c
<コメント>経営や業務の改善については、法人の方針に基づいて指導力を発揮しています。			

Ⅱ-2 福祉人材の確保・育成

			第三者評価結果
Ⅱ-2-(1) 福祉人材の確保・育成計画、人事管理の体制が整備されている。			
14	Ⅱ-2-(1)-①	必要な福祉人材の確保・定着等に関する具体的な計画が確立し、取組が実施されている。	a <input checked="" type="radio"/> b • c
<コメント>養育・支援に関わる有資格者の配置計画があり、人材が確保されています。職員は計画的に専門的な研修に参加しています。			
15	Ⅱ-2-(1)-②	総合的な人事管理が行われている。	a <input checked="" type="radio"/> b • c
<コメント>人事考課基準に従い、定期的な人事考課を実施しています。			
Ⅱ-2-(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。			
16	Ⅱ-2-(2)-①	職員の就業状況や意向を把握し、働きやすい職場づくりに取組んでいる。	a <input checked="" type="radio"/> b • c
<コメント>職員数が多くないため、意向や意見は情報交換しやすい環境にあります。施設長は定期的に職員の就業状況を把握し、心身の健康と安全確保に努めています。			
Ⅱ-2-(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。			
17	Ⅱ-2-(3)-①	職員一人ひとりの育成に向けた取組を行っている。	a <input checked="" type="radio"/> b • c
<コメント>定期的な人事考課や面談を通じて、職員の目標や仕事の達成度を把握しています。			
18	Ⅱ-2-(3)-②	職員の教育・研修に関する基本方針や計画が策定され、教育・研修が実施されている。	a <input checked="" type="radio"/> b • c
<コメント>施設の重点目標に「職員の資質向上」を掲げ、研修計画が作成されています。			
19	Ⅱ-2-(3)-③	職員一人ひとりの教育・研修の機会が確保されている。	a <input checked="" type="radio"/> b • c
<コメント>各種養育・支援に関する研修や、職種や階層・テーマ別の外部研修に積極的に参加し、施設内での研修報告も行われています。			
Ⅱ-2-(4) 実習生等の福祉サービスに関わる専門職の研修・育成が適切に行われている。			
20	Ⅱ-2-(4)-①	実習生等の福祉サービスに関わる専門職の教育・育成について体制を整備し、積極的な取組をしている。	a <input checked="" type="radio"/> b • c
<コメント>実習生受入マニュアルが作成され、保育士・社会福祉士・介護体験等を受け入れています。実習期間中は、養成校と連携を密にし、実習生の希望に応じた実習プログラムを提供しています。			

Ⅱ-3 運営の透明性の確保

		第三者評価結果
Ⅱ-3-(1) 運営の透明性を確保するための取組が行われている。		
21	Ⅱ-3-(1)-①	運営の透明性を確保するための情報公開が行われている。 a・b・c
＜コメント＞法人のホームページに、法人の理念、事業内容、決算状況、現況報告、苦情要望受付体制と処理内容について公表しています。		
22	Ⅱ-3-(1)-②	公正かつ透明性の高い適正な経営・運営のための取組が行われている。 a b・c
＜コメント＞施設における事務、経理、取引等に関する職務分掌と権限・責任が明確にされ、職員等に周知されています。毎月、月次報告を理事長へ報告しています。		

Ⅱ-4 地域との交流、地域貢献

		第三者評価結果
Ⅱ-4-(1) 地域との関係が適切に確保されている。		
23	Ⅱ-4-(1)-①	利用者と地域との交流を広げるための取組を行っている。 a・b・c
＜コメント＞地区の運動会や町内の夏祭り、ごみゼロ運動、夏休みのラジオ体操、三社大祭、ちびっこマラソン、植樹活動等に参加し、町内外の地域との交流を深めています。		
24	Ⅱ-4-(1)-②	ボランティア等の受入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。 a b・c
＜コメント＞事業計画の「地域貢献・地域との交流等」の項目の中に、ボランティア受け入れに対する基本姿勢が明記されています。		
Ⅱ-4-(2) 関係機関との連携が確保されている。		
25	Ⅱ-4-(2)-①	福祉施設・事業所として必要な社会資源を明確にし、関係機関等との連携が適切に行われている。 a・b・c
＜コメント＞事務・職員室内に、福祉事務所・児童相談所・学校関係・医療機関・町内会関係・他施設・その他の連携団体等をリスト化して掲示し、職員間での情報の共有化が図られています。		
Ⅱ-4-(3) 地域の福祉向上のための取組を行っている。		
26	Ⅱ-4-(3)-①	福祉施設・事業所が有する機能を地域に還元している。 a b・c
＜コメント＞地域からの相談を受け入れたり、施設の夏祭りを地域住民に開放しています。		
27	Ⅱ-4-(3)-②	地域の福祉ニーズにもとづく公益的な事業・活動が行われている。 a b・c
＜コメント＞月1回、地域の情報交換会に参加し、地域の状況を把握しています。また、児童相談所からの要請により、一時保護を行っています。		

評価対象Ⅲ 適切な福祉サービスの実施

Ⅲ-1 利用者本位の福祉サービス

		第三者評価結果
Ⅲ-1-(1) 利用者を尊重する姿勢が明示されている。		
28	Ⅲ-1-(1)-①	a b・c
＜コメント＞子どもを尊重した養育・支援の基本姿勢は、理念や基本方針に明示されており、施設内に掲示しています。		
29	Ⅲ-1-(1)-②	利用者のプライバシー保護等の権利擁護に配慮した福祉サービス提供が行われている。 a・b・c
＜コメント＞居室に入室する際の声掛けや子どもの愛用品を大切にするなど、子どものプライバシーに配慮した関わりが実践されています。		
Ⅲ-1-(2) 福祉サービスの提供に関する説明と同意（自己決定）が適切に行われている。		
30	Ⅲ-1-(2)-①	利用希望者に対して福祉サービス選択に必要な情報を積極的に提供している。 a b・c
＜コメント＞法人・施設のホームページを通じて、施設の目的や基本方針、特色等の情報を提供しています。またパンフレットを作成し、関係機関へ配布しています。		

31	Ⅲ-1-(2)-②	福祉サービスの開始・変更にあたり利用者等にわかりやすく説明している。	a <input checked="" type="radio"/> b・c
<p><コメント>養育・支援の開始の際は、施設が定めた様式に基づいて、子どもへ説明を行っています。保護者には児童相談所職員と一緒に詳しい説明を行っています。</p>			
32	Ⅲ-1-(2)-③	福祉施設・事業所の変更や家庭への移行等にあたり福祉サービスの継続性に配慮した対応を行っている。	a <input checked="" type="radio"/> b・c
<p><コメント>措置変更や家庭への移行の際は、児童相談所と連携して支援し、口頭で申し送りを行っています。退所後は、いつでも相談を受け入れる体制を整えています。</p>			
Ⅲ-1-(3) 利用者満足の上昇に努めている。			
33	Ⅲ-1-(3)-①	利用者満足の上昇を目的とする仕組みを整備し、取組を行っている。	a <input checked="" type="radio"/> b・c
<p><コメント>個別の面談により、子ども一人ひとりの意見を聞く機会を設けています。職員は、子ども主体で運営する「子ども会」にも参加し、子ども達との意見交換を通じて、満足度の把握に努めています。</p>			
Ⅲ-1-(4) 利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。			
34	Ⅲ-1-(4)-①	苦情解決の仕組みが確立しており、周知・機能している。	a <input checked="" type="radio"/> b・c
<p><コメント>第三者委員を設置し、苦情解決に組織的に取り組む体制ができています。第三者委員は定期的に訪問し、子どもたちの意見を聞き取っています。</p>			
35	Ⅲ-1-(4)-②	利用者が相談や意見を述べやすい環境を整備し、利用者等に周知している。	a <input checked="" type="radio"/> b・c
<p><コメント>子どもが安心して相談ができるよう、相談相手を限定せず、職員の誰にでも相談できることを周知しています。職員は、子どもから親しまれるよう、日常的に声がけを積極的に行っています。</p>			
36	Ⅲ-1-(4)-③	利用者からの相談や意見に対して、組織的かつ迅速に対応している。	a <input checked="" type="radio"/> b・c
<p><コメント>子どもからの相談や意見等があった場合は、会議を開催し、適切かつ迅速に対応しています。</p>			
Ⅲ-1-(5) 安心・安全な福祉サービスの提供のための組織的な取組が行われている。			
37	Ⅲ-1-(5)-①	安心・安全な福祉サービスの提供を目的とするリスクマネジメント体制が構築されている。	a <input checked="" type="radio"/> b・c
<p><コメント>ヒヤリハットを収集して要因分析と改善策を検討する会議を開催し、改善・再発防止に取り組んでいます。</p>			
38	Ⅲ-1-(5)-②	感染症の予防や発生時における利用者の安全確保のための体制を整備し、取組を行っている。	a <input checked="" type="radio"/> b・c
<p><コメント>感染症マニュアルを作成し、発生時の対応手順を定めています。また、職員研修会を通じて、職員に周知されています。予防策として空気清浄器を設置する等、環境整備に取り組んでいます。</p>			
39	Ⅲ-1-(5)-③	災害時における利用者の安全確保のための取組を組織的に行っている。	<input checked="" type="radio"/> a・b・c
<p><コメント>月1回の避難訓練を実施し、緊急時の対応訓練が行われています。非常災害時の連絡網も作られており、子どもや職員の安否確認の方法が決められています。</p>			

Ⅲ-2 福祉サービスの質の確保

			第三者評価結果
Ⅲ-2-(1) 提供する福祉サービスの標準的な実施方法が確立している。			
40	Ⅲ-2-(1)-①	提供する福祉サービスについて標準的な実施方法が文書化され福祉サービスが提供されている。	a <input checked="" type="radio"/> b・c
<p><コメント>日々の業務を行う際に、職員間に差が生じないように、業務マニュアルを作成し、職員がいつでも閲覧できる場所に設置しています。</p>			
41	Ⅲ-2-(1)-②	標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。	a <input checked="" type="radio"/> b・c
<p><コメント>業務マニュアルの見直しは、職員会議において検討しています。</p>			
Ⅲ-2-(2) 適切なアセスメントにより福祉サービス実施計画が策定されている。			
42	Ⅲ-2-(2)-①	アセスメントにもとづく個別的な福祉サービス実施計画を適切に策定している。	a <input checked="" type="radio"/> b・c
<p><コメント>定められた手法に基づいてアセスメントを行い、児童相談所と連携して援助方針を検討し、子ども一人ひとりの適切な自立支援計画を作成しています。</p>			

43	Ⅲ-2-(2)-②	定期的に福祉サービス実施計画の評価・見直しを行っている。	a ㊟・c
<p><コメント>1年を実施期間とする自立支援計画を作成し、状況の変化に応じて見直しを行なっています。</p>			
Ⅲ-2-(3) 福祉サービス実施の記録が適切に行われている。			
44	Ⅲ-2-(3)-①	利用者に関する福祉サービス実施状況の記録が適切に行われ、職員間で共有化している。	a ㊟・c
<p><コメント>記録の内容や書き方に差異が生じないように、適切な指導がされています。日々の記録を通して、職員間で情報の共有化が図られています。</p>			
45	Ⅲ-2-(3)-②	利用者に関する記録の管理体制が確立している。	a ㊟・c
<p><コメント>文書管理や個人情報保護の規程を定め、施設長の責任のもと適切な管理が行われています。職員には、個人情報保護に関する研修会を行うなど、ガイドラインを理解する取り組みをしています。</p>			